



2012年9月10日

— 島根大学他合同グループとの共同研究から —

2年間の臨床試験および試験終了1年後のフォローアップ検診により

【DHA・EPA入り魚肉ソーセージ】による認知機能低下の抑制効果を確認

(株)マルハニチロホールディングス（本社：東京都江東区、社長：久代敏男）は、島根大学医学部、島根県立大学出雲キャンパス、社会医療法人仁寿会加藤病院と共同で2008年11月から2年間、食品を利用したDHA・EPAの認知機能等、健康・長寿に及ぼす影響を調査する臨床試験を実施いたしました。試験食には、加工の均一性、食感の食べやすさを考慮し、DHA・EPAを強化した魚肉ソーセージを用いました。さらに、臨床試験終了1年後に、被験者の方（一部）を対象にフォローアップ検診を実施いたしました。

その結果、高齢者の認知症予防に関して有益な知見が得られました。食品を利用したDHA摂取に関する100名規模の臨床試験は我が国初の試みであり、健常在宅高齢者での効果が検証できたのは初めてです。

○研究成果

臨床試験終了1年後のフォローアップ検診により、DHA・EPA入り魚肉ソーセージを食べなくなると、赤血球膜のDHA・EPAは減少し、加齢に伴い認知機能が低下するという結果が得られました。また、DHA・EPA入り魚肉ソーセージの摂取期間が長いほど、認知機能の低下速度は軽減する可能性が示されました。

加齢に伴う短期記憶や認知機能の低下が、DHA・EPA入り魚肉ソーセージの摂取によって抑制されたと考えられました。本研究成果は、食品を利用した認知症予防の可能性を示唆するものであり、予防医学の観点からも健康長寿社会の実現に向けた波及効果が大きいと期待できます。

○試験者

島根大学医学部、島根県立大学出雲キャンパス、社会医療法人仁寿会加藤病院、
マルハニチロホールディングス

○治験者

臨床試験：島根県川本町在住の認知症と診断されない平均年齢73歳の高齢者 101名
臨床試験終了1年後のフォローアップ検診の参加者は、その内83名

○期間

臨床試験：2008年11月～2010年12月

臨床試験終了1年後のフォローアップ検診：2011年11月

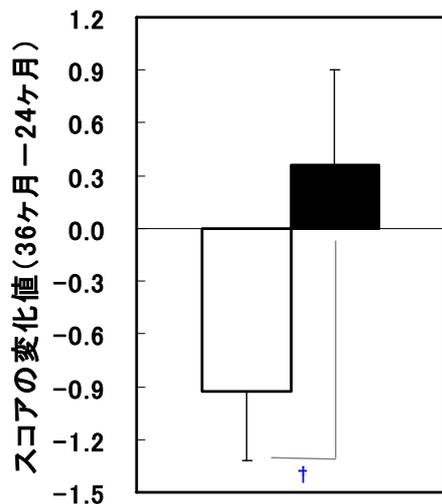


○臨床試験概要

被験者を 2 つのグループに分け、DHA・EPA を規定量 (DHA 850 mg、EPA 200 mg) 含有させた魚肉ソーセージ ((株)マルハニチロ食品製) と、オリーブ油を添加した魚肉ソーセージ (プラセボ) をそれぞれ 1 日 2 本ずつ、1 年間摂取してもらいました。半年に一度、認知機能や記憶力に関するテストを行い、認知機能に及ぼす DHA・EPA の効果を比較しました。試験 2 年目は、全ての被験者に DHA・EPA 入り魚肉ソーセージを摂取してもらい、同じく認知機能や記憶力に関するテストを行いました。認知機能や記憶力のテストは、質問形式の MMSE (ミニメンタルステートテスト) や、6 課題からなる前頭葉機能検査 (FAB) を行いました。

○臨床試験終了 1 年後のフォローアップ検診の結果

臨床試験終了 1 年後にフォローアップ検診を実施し MMSE スコアを測定したところ、プラセボ群 (臨床試験の最初の 1 年間、オリーブ油を添加した魚肉ソーセージを摂取した被験者グループ) は、加齢にともなう認知機能の低下が確認されました。しかし、DHA・EPA 入り魚肉ソーセージを 2 年間摂取したグループでは、加齢にともなう認知機能に変化は見られませんでした。



□ Control
■ Active
†: p<0.10
vs control

Control :

プラセボ群 (オリーブ油入り魚肉ソーセージ群)

Active :

DHA・EPA 入り魚肉ソーセージ群

以上

研究内容に対する具体的なお問い合わせ先

島根大学医学部生理学講座
准教授 橋本道男
住所 〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1
Tel 0853-20-2112

報道各位からのお問い合わせ先

株式会社マルハニチロホールディングス
広報 IR 部
Tel 03-6833-0826 Fax 03-6833-0506